

Rapid シリーズ Ver7.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
表示モードでの処理機能の追加		
表示モードでの各種コマンド操作の対応と、要素検索機能、およびスナップ機能に対応しました。	要素検索機能	表示モードでの各種コマンド操作における、『単要素検出』、『枠範囲要素検出』、『線上要素検出』、『連続要素検出(端点間検出)』、および『参照要素検出(交点間検出)』に対応しました。
	スナップ機能	表示モードでの各種コマンド操作における、『マウスカーソル』、『XYスナップ』、『距離スナップ』、『グリッドスナップ』、『自動スナップ』、『手動スナップ』、『【Shift】キースナップ』、および『数値入力スナップ』に対応しました。
	コマンド	表示モードにおける、【ファイル】関連、【編集】関連、【作図】関連、【ツール】関連、【構造図】関連、【配筋加工図】関連、【仮設土留工】関連、および【下水工事図面】関連の各種コマンド操作に対応しました。 また Pipe Rapid では、これに加え、【路線平面系統】関連、および【屋外排水設備】関連の各種コマンド操作に対応しました。
グリッドに関する設定値保存方法の変更		
グリッドに関する各設定値は、CAD システムで一つの設定値を保持していましたが、グリッドに関する各設定値の一部を図面内のページごとに保持し、図面データ(Dob)内に保存するように変更しました。 システム→各ページに移行 ・『グリッドのスナップ水平間隔』 ・『グリッドのスナップ垂直間隔』 ・『グリッド水平軸の傾き角度』 ・『グリッドポイントの水平間隔』 ・『グリッドポイントの垂直間隔』 ・『絶対原点からのグリッド水平基点』 →『相対原点からのグリッドの水平基点』 ・『絶対原点からのグリッド垂直基点』 →『相対原点からのグリッドの垂直基点』	グリッド設定 (システム保持)	【設定】-【点検出設定】コマンドの【グリッド設定】ページ内の、グリッドに関する各設定値の一部を図面内の各ページごとに保持するように機能移行を行いました。 また新規に、グリッドポイントの描画タイプを 4 タイプ(*・●・+・×)より設定可能にした『グリッドポイントのタイプ』、およびグリッドポイントのサイズをドット単位により設定可能にした『グリッドポイントのサイズ』の設定値を追加しました。
	グリッド設定 (各ページ保持)	【設定】-【ページ・レイヤ設定】コマンドの【ページ】ページ内に【グリッド設定】ボタンを追加し、表示されるダイアログ内で、【設定】-【点検出設定】コマンドの【グリッド設定】ページから移行されたグリッド設定が、ページごとに行なえるようになりました。
【基本属性参照】ツールバーの追加		
【基本属性参照】ツールバーを新規に追加し、新機能の搭載、および既存機能の仕様変更を行いました。	【基本属性参照】ツールバー	新規に【文字参照】割込み機能を搭載し、単独要素指定により指定した文字要素に設定されている文字列を【文字】コマンドで使用する【文字入力】ダイアログに設定可能になりました。 新規に【フォント参照】割込み機能を搭載し、単独要素指定により指定した文字要素に設定されているフォントを【文字】コマンドで使用する【フォント設定】ダイアログに設定可能になりました。 新規に【ページ・レイヤ参照】割込み機能を搭載し、単独要素指定により指定した要素に登録されているページ、およびレイヤを入力ページ、および入力レイヤに設定可能になりました。 前バージョンの【基本属性】ツールバー内の【色彩参照】【線種参照】【線厚参照】の機能を移動搭載しました。
	【基本属性】ツールバー	【基本属性】ツールバーの【色彩参照】【線種参照】【線厚参照】ボタンの各機能を新規追加の【基本属性参照】ツールバーに移動しました。 これに伴い、【基本属性】ツールバーの各ボタンの機能を次のとおり変更しました。 【色彩参照】→【色彩選択】ダイアログによる色彩選択の機能 【線種参照】→【線種選択】ダイアログによる線種選択の機能 【線厚参照】→【線厚選択】ダイアログによる線厚選択の機能
【縦に並べて表示】コマンドの追加		
複数図面を縦に並べての表示することも可能になりました。	複数図面表示機能	【ウィンドウ】-【縦に並べて表示】コマンドを追加しました。 
文字の代替描画機能の追加		
文字要素のフォントが Windows システムに存在しない場合に、「MS ゴシック」により表示することも可能になりました。	文字要素の表示設定	【設定】-【環境設定】ダイアログの【表示】タブ内に、「設定されたフォントがシステムに存在しない場合に【MS ゴシック】で表示する。」のチェックボックスを追加しました。 
線種の描画機能の追加		
各要素の線種を表示する場合において、現在の表示倍率に関係なく常に設定した線種で表示することも可能になりました。	線種の表示設定	【設定】-【環境設定】ダイアログの【表示】タブ内に、「常に設定した線種で表示する。」のチェックボックスを追加し、チェックが【ON】の場合は、現在の表示倍率に関係なく、常に設定したスケジュールのサイズにより線種を描画できるようにしました。 

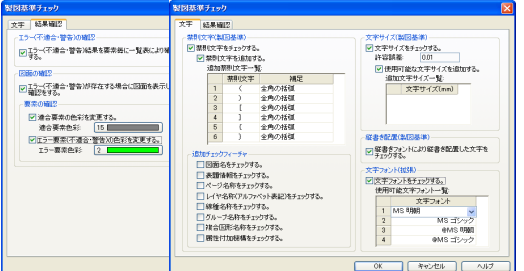
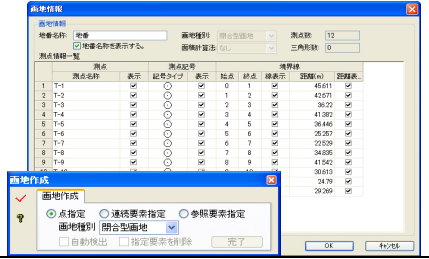
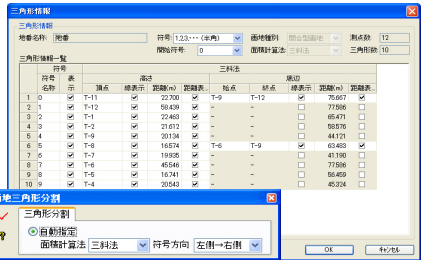


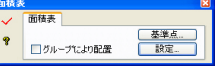
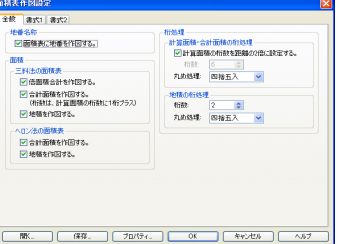
Rapid シリーズ Ver7.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
白色を黒色に自動変換し印刷する機能の追加		
図面印刷時に、設定した基本属性(色彩・線種・線厚)の変換を無視し、色彩が白色のみを黒色に自動変換して印刷することも可能になりました。	印刷変換設定	【印刷】または【連続印刷】コマンドダイアログ内の【変換設定】ボタンを押すと表示される【印刷項目属性変換】ダイアログの【その他】ページに、【白色のみを黒色に変換して印刷する。】チェックボックスを追加しました。
【ページ・レイヤ編集】コマンドの動作変更		
【ページ・レイヤ編集】コマンドにおける、マウスクリック操作時の動作を変更しました。	マウスクリック操作時の動作	【編集】-【ページ・レイヤ編集】コマンドにおいて、【属性変更】ボタンが選択されている場合、ページ一覧やレイヤ一覧上でのマウスクリック操作時の動作を次のように変更しました。 <ページ一覧が開いている場合> ・タイトルバーをシングルクリック→クリックしたページがアクティブに。 ・タイトルバーをダブルクリック→クリックしたページのレイヤ一覧を表示。 ・ページ画面内をクリック→クリックしたページの【ページ属性変更】ダイアログを表示。 <レイヤ一覧が開いている場合> ・タイトルバーをクリック→クリックしたレイヤがアクティブに。 ・レイヤ画面内をクリック→クリックしたレイヤの【レイヤ属性変更】ダイアログが表示。
【ポリライン】コマンドの機能拡張		
【ポリライン】の作図基準要素として、接線も指定することが可能になりました。	ポリライン作図機能	【作図】-【ポリライン】コマンドの【ポリライン】ページ内に【接線】モードを追加し、直前に指定した区間(線分または円弧)に対しての接線による仮想ポリラインを作図できる機能を追加しました。
【複合ポリライン】の作図基準要素として、接線も指定することが可能になりました。	複合ポリライン作図機能	【作図】-【ポリライン】コマンドの【複合ポリライン】ページ内に【接線】モードを追加し、直前に指定した区間(線分または円弧)に対しての接線による複合仮想ポリラインを作図できる機能を追加しました。
【シンボル配置】コマンドの機能変更		
『方位記号』シンボルの基本サイズ(高さ)を全て 10mm に変更しました。	『方位記号』シンボルの作図機能	【作図】-【シンボル】-【シンボル配置】コマンドで作図される『方位記号-1』、『方位記号-2』、『方位記号-3』、および『方位記号-4』の基本サイズ(高さ)を 10mm に変更しました。 【シンボル配置】ページ内の【倍率】コンボボックスで指定した倍率により、サイズ(高さ)＝【倍率】× 10mm の方位記号が配置されます。
【寸法変更】コマンドの機能拡張		
勾配寸法要素以外の全ての寸法要素を対称とし、寸法文字の文字配置点を変更することが可能になりました。	寸法文字の配置点変更機能	【作図】-【寸法】-【寸法変更】コマンドの【寸法文字】ページに【文字配置点】モードを追加し、寸法文字の文字配置点を[左上]・[中上]・[右上]・[左中]・[中中]・[右中]・[左下]・[中下]・[右下]の 9 タイプに変更できる機能を追加しました。 これにより、【SXF 入力】時、【SXF 出力】時、および【要素分解】時などにおいても、指定された文字配置点を維持することが可能になりました。 変更後の文字配置点は、【ツール】-【要素情報】ダイアログ内の『寸法文字配置位置』によりご確認いただけます。
【注釈変更】コマンドの機能拡張		
文字注釈要素の注釈文字、およびバルーン注釈要素のバルーン文字の文字配置点を変更することが可能になりました。	注釈文字、およびバルーン文字の配置点変更機能	【作図】-【注釈】-【注釈変更】コマンドの【注釈文字】ページに【文字配置点】モードを追加し、注釈文字、およびバルーン文字の文字配置点を[左上]・[中上]・[右上]・[左中]・[中中]・[右中]・[左下]・[中下]・[右下]の 9 タイプに変更できる機能を追加しました。 これにより、【SXF 入力】時、【SXF 出力】時、および【要素分解】時などにおいても、指定された文字配置点を維持することが可能になりました。 変更後の文字配置点は、【ツール】-【要素情報】ダイアログ内の『* * 文字配置位置』によりご確認いただけます。
文字注釈要素の注釈文字、およびバルーン注釈のバルーン文字を編集することが可能になりました。	注釈文字、およびバルーン文字の編集機能	【作図】-【注釈】-【注釈変更】コマンドの【注釈文字】ページに【文字編集】モードを追加し、指定した文字注釈要素の注釈文字、およびバルーン注釈要素のバルーン文字の文字列を設定変更することが可能になりました。
文字注釈、およびバルーン注釈要素のアンダーラインを表示または非表示に設定変更することが可能になりました。	注釈アンダーラインの表示・非表示機能	【作図】-【注釈】-【注釈変更】コマンドの【アンダーライン】ページに【表示/非表示】モードを追加し、文字注釈、およびバルーン注釈要素のアンダーラインを表示または非表示に設定変更することが可能になりました。
【円寸法】コマンドの機能拡張		
半径寸法、および弧長寸法を作図する場合に、路線要素、地区外路線要素、および流末路線要素内の円弧部分も対象要素になりました。	半径寸法作図機能	【作図】-【寸法】-【円寸法】コマンドの【半径寸法】ページにより半径寸法を作図する場合に、路線要素、地区外路線要素、および流末路線要素内の円弧部分も対象要素になりました。(但し、『参照要素』のチェックが OFF に設定されている場合のみ)
	弧長寸法作図機能	【作図】-【寸法】-【円寸法】コマンドの【弧長寸法】ページにより弧長寸法を作図する場合に、路線要素、地区外路線要素、および流末路線要素内の円弧部分も対象要素になりました。

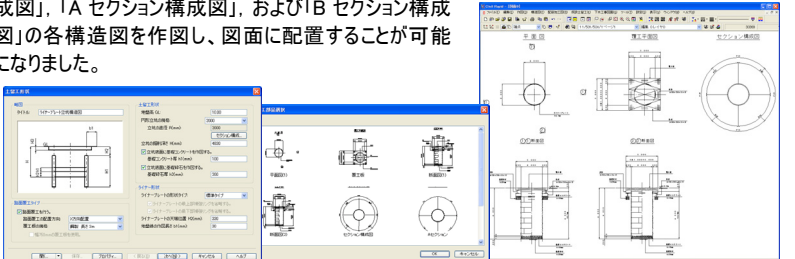
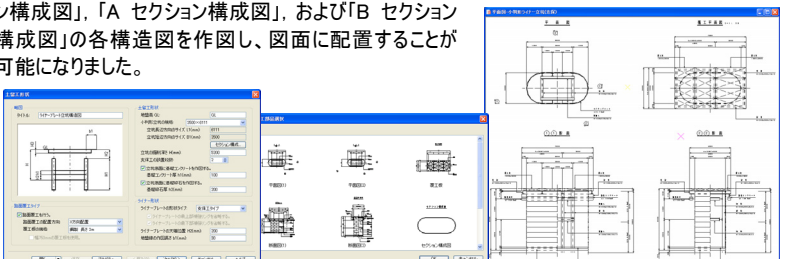
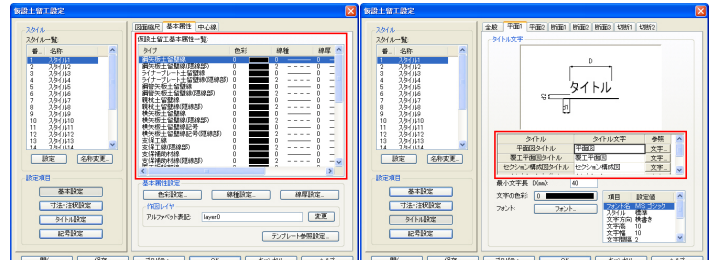
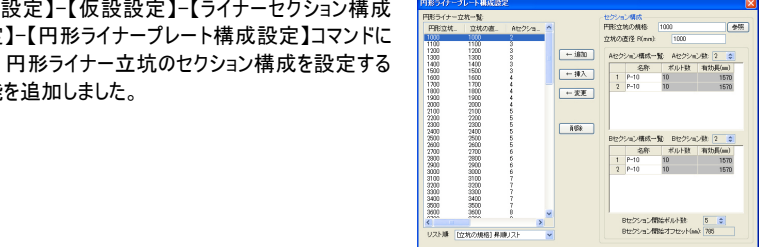
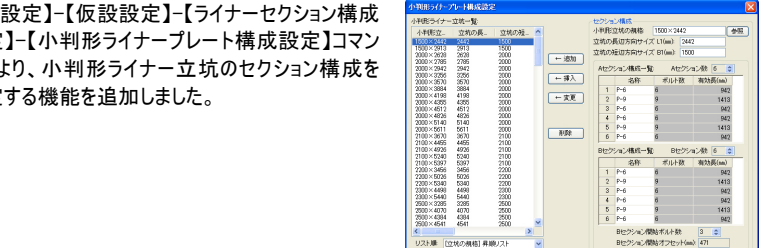
Rapid シリーズ Ver7.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
【要素寸法】コマンドの機能拡張		
距離寸法を作図する場合に、路線要素、地区外路線要素、および流末路線要素内の円弧部分も対象要素になりました。	距離寸法作図機能	【作図】-【寸法】-【要素寸法】コマンドの【距離寸法】ページにより距離寸法を作図する場合に、路線要素、地区外路線要素、および流末路線要素内の円弧部分も対象要素になりました。(但し、『参照要素』のチェックが OFF に設定されている場合のみ)
【製図基準チェック】機能の追加 ※Civil Rapid Rapid Draw の機能追加 (Pipe Rapid は対象外)		
文字に関するチェック項目として、[禁則文字]、[文字サイズ]、[縦書きフォントによる縦書き配置]、および[文字フォント]をチェックすることが可能になりました。	製図基準チェック機能	【編集】-【製図基準】-【製図基準チェック】コマンドにより、【文字】ページで文字に関するチェック条件を、また【結果確認】ページでチェック結果の確認方法に関する条件を設定し、現在アクティブな図面に対して製図基準チェックを行うことが可能になりました。 
三斜面積・ヘロン面積計算機能の追加 ※Civil Rapid Pipe Rapid (要平面オプション)の機能追加 (Rapid Draw は対象外)		
画地要素の作成、および面積計算法(三斜法・ヘロン法)による三角形分割を行ない、画地の情報(地番名称・測点名称・測点記号など)、および分割した三角形の情報を設定することが可能になりました。	画地作成機能	【ツール】(Pipe Rapid の場合は【路線平面系統】)-【面積計算】-【画地作成】コマンドにより、閉合型または開合型の画地要素を作成し、画地の情報(地番名称・測点名称・測点記号等)を設定することが可能になりました。 
画地要素の作成、および面積計算法(三斜法・ヘロン法)による三角形分割を行ない、画地の情報(地番名称・測点名称・測点記号など)、および分割した三角形の情報を設定することが可能になりました。	画地三角形分割機能	【ツール】(Pipe Rapid の場合は【路線平面系統】)-【面積計算】-【画地三角形分割】コマンドにより、指定した画地要素に対して、三斜法またはヘロン法による面積計算法による三角形に分割し、情報を設定することが可能になりました。 
画地要素の作成、および面積計算法(三斜法・ヘロン法)による三角形分割を行ない、画地の情報(地番名称・測点名称・測点記号など)、および分割した三角形の情報を設定することが可能になりました。	画地編集機能	【ツール】(Pipe Rapid の場合は【路線平面系統】)-【面積計算】-【画地編集】コマンドにより、作成された画地要素に対して、表記文字の位置、符号の順番、画地情報、および三角形情報を編集することが可能になりました。 
画地要素の作成、および面積計算法(三斜法・ヘロン法)による三角形分割を行ない、画地の情報(地番名称・測点名称・測点記号など)、および分割した三角形の情報を設定することが可能になりました。	画地作成の設定	【設定】-【画地設定】コマンドにより、作成された画地要素を描画する場合の各パラメータを設定することが可能になりました。 
【画地作成】コマンドにより三角形分割された画地要素を対象とした面積集計表の作成が自動で行なえるようになりました。	面積表作成機能	【ツール】(Pipe Rapid の場合は【路線平面系統】)-【面積計算】-【面積表】コマンドにより、三角形分割されている画地要素を指定し、設定されている面積計算法による面積表を作成することが可能になりました。 
【画地作成】コマンドにより三角形分割された画地要素を対象とした面積集計表の作成が自動で行なえるようになりました。	面積表作成の設定	【ツール】(Pipe Rapid の場合は【路線平面系統】)-【面積計算】-【面積表】ダイアログ内の【設定】ボタンを押すことにより表示される【面積表作成設定】ダイアログにより、求積表を作成する場合の各パラメータを設定することが可能になりました。 


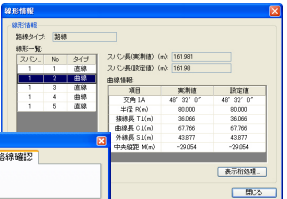
Rapid シリーズ Ver7.0 追加機能一覧

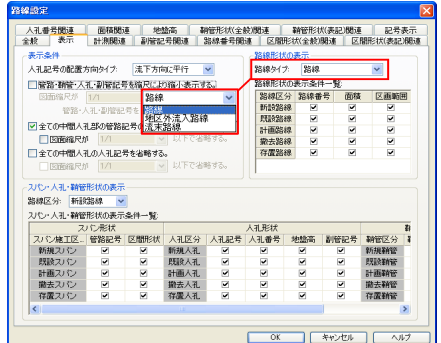
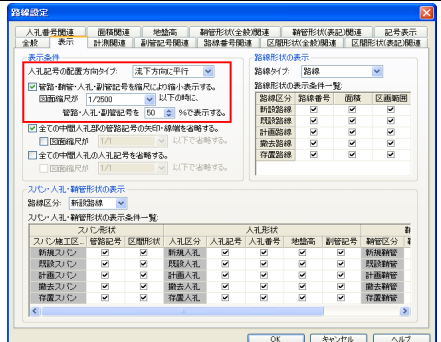
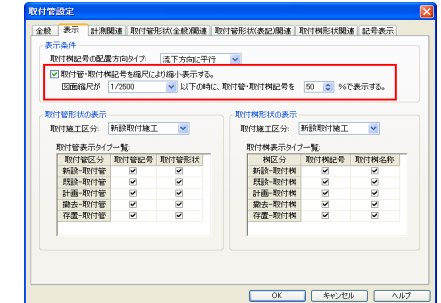
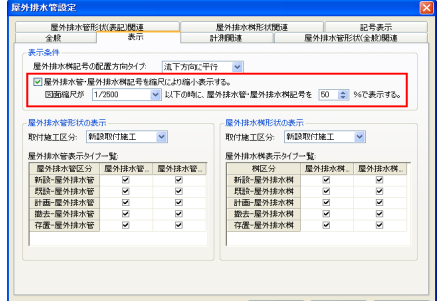
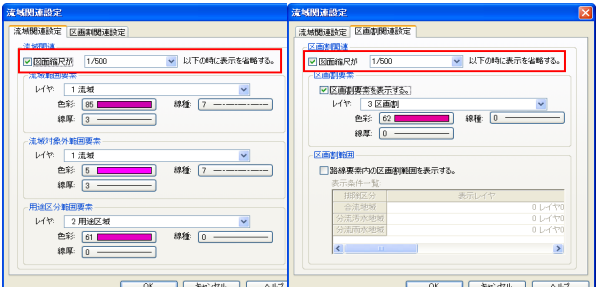
Civil Rapid Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
ライナープレート式立坑自動作図機能の追加 ※Civil Rapid Pipe Rapid(要平面オプション)の機能追加 (Rapid Draw は対象外)		
仮設図の自動作図機能として、これまで搭載されていた『鋼矢板立坑』、および『鋼矢板開削土留工』に加え、今回のバージョンアップにより、新機能である『円形ライナー立坑』、および『小判形ライナー立坑』がウィザード形式により自動作図することが可能になりました。	円形ライナー立坑の自動作図機能	【仮設土留工】-【仮設土留工】-【円形ライナー立坑】コマンドにより、入力された各設定値に基づき、自動的に「平面図」、「覆工平面図」、「①-①断面図」、「②-②断面図」、「セクション構成図」、「A セクション構成図」、および「B セクション構成図」の各構造図を作図し、図面に配置することが可能になりました。 
小判形ライナー立坑の自動作図機能	小判形ライナー立坑の自動作図機能	【仮設土留工】-【仮設土留工】-【小判形ライナー立坑】コマンドにより、入力された各設定値に基づき、自動的に「平面図」、「覆工平面図」、「①-①断面図」、「②-②断面図」、「セクション構成図」、「A セクション構成図」、および「B セクション構成図」の各構造図を作図し、図面に配置することが可能になりました。 
仮設土留工設定	仮設土留工設定	【設定】-【仮設定】-【仮設土留工設定】コマンドの【基本設定】-【基本属性】ページ内の【仮設土留工基本属性一覧】に、『円形ライナー立坑』、および『小判形ライナー立坑』作図のためのリスト項目を追加しました。 また、同コマンドの【タイトル設定】-【平面 1】ページ内の設定を『円形ライナー立坑』、および『小判形ライナー立坑』作図のために変更しました。 
円形ライナープレートセクション構成設定	円形ライナープレートセクション構成設定	【設定】-【仮設定】-【ライナーセクション構成設定】-【円形ライナープレート構成設定】コマンドにより、円形ライナー立坑のセクション構成を設定する機能を追加しました。 
小判形ライナープレートセクション構成設定	小判形ライナープレートセクション構成設定	【設定】-【仮設定】-【ライナーセクション構成設定】-【小判形ライナープレート構成設定】コマンドにより、小判形ライナー立坑のセクション構成を設定する機能を追加しました。 

Rapid シリーズ Ver7.0 追加機能一覧

Pipe Rapid

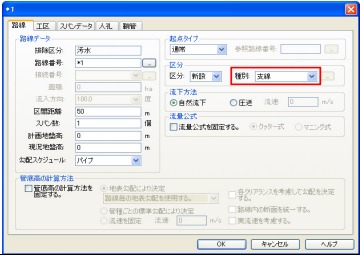
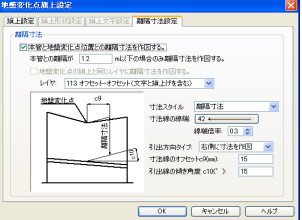
追加機能概要	分類	内容
曲線や折れ点を含む路線要素機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>始点、および終点の途中に曲線または折れ点を有する1スパンの路線要素を作成することが可能になりました。</p>	<p>曲線路線作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【曲線路線作成】コマンドを追加し、【点指定】、【連続要素指定】、および【参照要素指定】の各モードにより、始点、および終点の途中に曲線または折れ点を有する1スパンの路線要素の作成が可能になりました。</p> <p>・【点指定】モード： 始点、折れ点(複数)、および終点を指定し、設定した半径による曲線(半径=0の場合は折れ点)を有する1スパンの路線要素を作成できます。</p> <p>・【連続要素指定】モード： 連続する要素を指定し、曲線または折れ点を有する1スパンの路線要素を作成できます。対象要素は、グループ要素を除く、線分、マルチライン、円弧、および開合ポリライン要素です。</p> <p>・【参照要素指定】モード： 交差する要素を指定し、交点間の部分を使用した曲線または折れ点を有する1スパンの路線要素を作成できます。対象要素は、グループ要素を除く、線分、マルチライン、および円弧要素です。</p> 
<p>始点、および終点の途中に折れ点を有する地区外流入路線要素を作成することが可能になりました。</p>	<p>地区外折れ点路線作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【地区外路線作成】コマンドに【折点指定】モードを追加し、始点、および終点の途中に折れ点を有する地区外路線要素の作成が可能になりました。</p> 
<p>始点、および終点の途中に折れ点を有する流末路線要素を作成することが可能になりました。</p>	<p>流末折れ点路線作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【流末路線作成】コマンドに【折点指定】モードを追加し、始点、および終点の途中に折れ点を有する流末路線要素の作成が可能になりました。</p> 
<p>始点、および終点の途中に折れ点を有する路線要素を編集することが可能になりました。</p>	<p>折れ点路線編集機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【曲線路線編集】コマンドを追加し、【折点編集】ページの【折点追加】、【折点変更】、および【折点削除】の各モードにより、路線要素、地区外路線要素、および流末路線要素内の折れ点の編集が可能になりました。</p> <p>・【折点追加】モード： 指定した路線要素内に折れ点を追加できます。</p> <p>・【折点変更】モード： 指定した路線要素内の折れ点位置を変更できます。</p> <p>・【折点削除】モード： 指定した路線要素内の折れ点を削除できます。</p> 
<p>始点、および終点の途中に曲線を有する路線要素を編集することが可能になりました。</p>	<p>曲線路線編集機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【曲線路線編集】コマンドを追加し、【曲線編集】ページの【曲線追加】、および【曲線削除】の各モードにより、路線要素、地区外路線要素、および流末路線要素内の曲線の編集が可能になりました。</p> <p>・【曲線追加】モード： 指定した路線要素内の折れ点をIP点とし、入力した半径の曲線に変更できます。</p> <p>・【曲線削除】モード： 指定した路線要素内の曲線を直線に変更できます。</p> 
<p>始点、および終点の途中に曲線または折れ点を有する路線要素の線形情報確認が可能になりました。</p>	<p>線形情報確認機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【曲線路線編集】コマンドを追加し、【路線確認】ページの【線形情報確認】モードにより、路線要素、地区外路線要素、および流末路線要素の線形情報の確認が可能になりました。</p> 
新規作成時の路線・取付番号自動設定機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図上で、路線、地区外路線、および流末路線を新規作成する場合において、路線番号が自動設定されるようになりました。</p>	<p>路線番号付加機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【路線作成】、【曲線路線作成】、【地区外路線作成】、および【流末路線作成】コマンドによる新規路線作成時に、「*」が先頭に付加された路線番号が自動設定されるようになりました。</p> 
<p>平面図上で、取付管を新規作成する場合において、取付番号が自動設定されるようになりました。</p>	<p>取付番号付加機能</p>	<p>【路線平面系統】-【取付管(路線接続)】-【取付管作成】コマンドによる新規取付管作成時に、「*」が先頭に付加された取付番号が自動設定されるようになりました。</p> 
<p>平面図上で、屋外排水管を新規作成する場合において、取付番号が自動設定されるようになりました。</p>	<p>取付番号付加機能</p>	<p>【屋外排水設備】-【屋外排水管作成】、および【取付管(樹引き)作成】コマンドによる新規屋外排水管作成時に、「*」が先頭に付加された取付番号が自動設定されるようになりました。 ※屋外排水管作成には、要[屋外排水設備システム(オプション)]</p> 
スパン延長分解機能の拡張 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>スパンの【延長分解】において、負の数値の入力により、終点側からの延長を指定したスパン分解を行うことも可能になりました。</p>	<p>スパン延長分解機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【路線編集】コマンドの【スパン変更】ページの【延長分解】モードによる『延長』欄の入力範囲において、これまでの起点側からの延長(延長>0)に加え、終点側からの延長(延長<0)も指定できるようになりました。</p> 

追加機能概要	分類	内容
路線タイプによる路線形状表示変更機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>路線形状の表示において、これまでの路線区分ごとによる表示設定に加え、路線タイプごとに、平面図に表示設定することも可能になりました。</p>	<p>路線形状の表示設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】コマンドの【表示】ページに、路線形状(路線番号・面積・区画範囲)を路線タイプ(路線・地区外流入路線・流末路線)ごとに表示選択できる設定を追加し、これまでの路線区分(新設・既設・計画・撤去・存置)ごとによる表示設定と併せ、さらに細かな表示設定が可能になりました。</p> 
図面縮尺による路線平面要素記号の描画変更機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>路線要素内の管路記号、管記号、副管記号、および人孔記号を図面縮尺により、平面図に縮小表示することが可能になりました。</p>	<p>路線要素記号の表示設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】コマンドの【表示】ページに、管路記号、管記号、副管記号、および人孔記号(人孔記号・起点人孔記号・分水人孔記号・起点兼用人孔記号)の表示を縮小表示する図面縮尺と、その時の表示比率(%)の設定を追加しました。</p> 
<p>取付管要素内の取付管記号、および取付樹記号を図面縮尺により、平面図に縮小表示することが可能になりました。</p>	<p>取付管要素記号の表示設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【取付管関連設定】-【取付管設定】コマンドの【表示】ページに、取付管記号、および取付樹記号の表示を縮小表示する図面縮尺と、その時の表示比率(%)の設定を追加しました。</p> 
<p>屋外排水要素内の屋外排水記号、および屋外排水樹記号を図面縮尺により、平面図に縮小表示することが可能になりました。</p>	<p>屋外排水要素記号の表示設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【屋外排水関連設定】-【屋外排水設定】コマンドの【表示】ページに、屋外排水記号、および屋外排水樹記号の表示を縮小表示する図面縮尺と、その時の表示比率(%)の設定を追加しました。</p> 
<p>流域要素、および区画割要素の表示を図面縮尺により、平面図から省略することが可能になりました。</p>	<p>流域・区画割要素の表示設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【流域関連設定】コマンドの【流域関連設定】、および【区画割関連設定】ページに、流域要素、および区画割要素の表示を図面縮尺により省略できる設定を追加しました。</p> 
<p>路線要素、取付管要素、および屋外排水要素内の表記文字の描画位置を縮尺、および倍率を考慮して移動または複写するよう機能変更しました。</p>	<p>表記文字の描画機能</p>	<p>路線要素、取付管要素、および屋外排水要素を移動または複写する場合、路線要素内の路線番号、区間形状、人孔番号、面積、地盤高、および管形状の描画配置位置を、取付管要素内の取付管形状、および取付樹形状の描画配置位置を、屋外排水要素内の屋外排水形状、および屋外排水樹形状の描画配置位置を縮尺または倍率を考慮して描画位置を再決定するよう機能を変更しました。また、面積の注釈線の引出位置も同様な処理に変更しました。</p>

Rapid シリーズ Ver7.0 追加機能一覧

Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
路線平面要素に文字表示する項目の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>路線要素内のスパンの区間形状として[施設番号]も平面図に表示することが可能になりました。</p>	<p>区間形状表示項目の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】ダイアログの【区間形状(表記)関連】ページの『区間形状一覧』に、[施設番号]を追加しました。</p> 
<p>路線要素内の人孔の表示文字タイプとして[施設番号]、および[人孔深]も平面図に表示することが可能になりました。</p>	<p>人孔表示文字タイプの設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】ダイアログの【人孔番号関連】ページの『表示文字タイプ』に、[施設番号]、および[人孔深]を追加しました。</p> 
<p>取付管要素内の取付管の取付管形状として[施設番号]も平面図に表示することが可能になりました。</p>	<p>取付管形状表示項目の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【取付管関連設定】-【取付管設定】ダイアログの【取付管形状(表記)関連】ページの『取付管形状一覧』に、[施設番号]を追加しました。</p> 
<p>取付管要素内の取付樹の表示文字タイプとして[施設番号]、および[樹深さ]も平面図に表示することが可能になりました。</p>	<p>取付樹表示文字タイプの設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【取付管関連設定】-【取付管設定】ダイアログの【取付樹形状関連】ページの『表示文字タイプ』に、[施設番号]、および[樹深さ]を追加しました。</p> 
<p>屋外排水管要素内の屋外排水管の屋外排水管形状として[施設番号]も平面図に表示することが可能になりました。</p>	<p>屋外排水管形状表示項目の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【屋外排水管関連設定】-【屋外排水管設定】ダイアログの【屋外排水管形状(表記)関連】ページの『屋外排水管形状一覧』に、[施設番号]を追加しました。</p> 
<p>屋外排水管要素内の屋外排水樹の表示文字タイプとして[施設番号]、および[樹深さ]も平面図に表示することが可能になりました。</p>	<p>屋外排水樹表示文字タイプの設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【屋外排水管関連設定】-【屋外排水管設定】ダイアログの【屋外排水樹形状関連】ページの『表示文字タイプ』に、[施設番号]、および[樹深さ]を追加しました。</p> 
人孔記号・樹記号の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面図に表記する人孔の輪郭記号として 6 タイプが追加され、作図可能になりました。</p>	<p>人孔記号設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【人孔記号設定】ダイアログの【人孔記号】ページ内の【輪郭記号変更】ボタンの指定により表示される【輪郭記号】ダイアログ内の『記号形状(外側)一覧』に、[塗潰し矩形2]、および[塗潰し矩形3]の 2 タイプを追加しました。</p> <p>また『記号形状(内側)一覧』に、[文字(直交)], [注記文字(直交)], [文字(水平)], および[文字(垂直)]の 4 タイプを追加しました。</p> 
<p>平面図に表記する取付樹の輪郭記号として 6 タイプが追加され、作図可能になりました。</p>	<p>取付樹記号設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【取付管関連設定】-【取付樹記号設定】ダイアログ内の【輪郭記号変更】ボタンの指定により表示される【輪郭記号】ダイアログ内の『記号形状(外側)一覧』に、[塗潰し矩形2]、および[塗潰し矩形3]の 2 タイプを追加しました。</p> <p>また『記号形状(内側)一覧』に、[文字(直交)], [注記文字(直交)], [文字(水平)], および[文字(垂直)]の 4 タイプを追加しました。</p> 
<p>平面図に表記する屋外排水樹の輪郭記号として 6 タイプが追加され、作図可能になりました。</p>	<p>屋外排水樹記号設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【屋外排水管関連設定】-【屋外排水樹記号設定】ダイアログ内の【輪郭記号変更】ボタンの指定により表示される【輪郭記号】ダイアログ内の『記号形状(外側)一覧』に、[塗潰し矩形2]、および[塗潰し矩形3]の 2 タイプを追加しました。</p> <p>また『記号形状(内側)一覧』に、[文字(直交)], [注記文字(直交)], [文字(水平)], および[文字(垂直)]の 4 タイプを追加しました。</p> 
レベル区間管路の勾配表記機能の追加		
<p>レベル区間の自然流下管路の勾配表記タイプを『勾配をそのまま表記』もしくは『任意文字により表記』から選択することが可能になりました。</p>	<p>勾配表記の設定</p>	<p>【縦断設計の設定】-【区分関係の設定】ダイアログ内に『レベル区間の勾配表記タイプ』の設定項目を設け、勾配がレベル区間の本管、取付管、および屋外排水管の自然流下管路の勾配を縦断面図や平面図に作図する場合に、表記タイプを『勾配をそのまま表記』もしくは『任意文字により表記』から選択して作図できる設定を追加しました。</p> 

追加機能概要	分類	内容
路線作成時の『種別』デフォルト値の変更		
<p>路線作成時に表示される【路線データ】ダイアログの【路線】ページ内の『種別』のデフォルト値を【幹線】から【支線】に変更しました。</p>	<p>『種別』デフォルト値</p>	
方位記号自動作図機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]		
<p>平面縦断面図に自動的に切出し挿入された路線平面図に対して、設定された形状および配置位置に、方位記号を自動挿入することが可能になりました。</p>	<p>方位記号設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【作図環境設定】ダイアログの【平面図】ページ内の【方位記号】ボタンの指定により表示される【方位記号設定】ダイアログを追加し、切出し挿入された路線平面図に対して、設定された形状および配置位置に、方位記号を自動挿入する設定を追加しました。</p> 
縦断離隔寸法自動作図機能の追加 ※取付管縦断面図の作図には要[屋外排水設備システム(オプション)]		
<p>本管縦断面図内に、本管と地下埋設物との離隔を寸法として作図することが可能になりました。</p>	<p>本管の地下埋設物離隔寸法設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【地下埋設物旗上設定】ダイアログに、本管と地下埋設物との離隔寸法を本管縦断面図内に作図するための設定を行なう【離隔寸法設定】ページを追加しました。</p> 
<p>本管縦断面図内に、本管とクロス管との離隔を寸法として作図することが可能になりました。</p>	<p>本管のクロス管離隔寸法設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【クロス管旗上設定】ダイアログに、本管とクロス管との離隔寸法を本管縦断面図内に作図するための設定を行なう【離隔寸法設定】ページを追加しました。</p> 
<p>本管縦断面図内に、本管と地盤変化点との離隔を寸法として作図することが可能になりました。</p>	<p>本管の地盤変化点離隔寸法設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【地盤変化点旗上設定】ダイアログに、本管と地盤変化点との離隔寸法を本管縦断面図内に作図するための設定を行なう【離隔寸法設定】ページを追加しました。</p> 
<p>取付管縦断面図内に、取付管と地下埋設物との離隔を寸法として作図することが可能になりました。</p>	<p>取付管の地下埋設物離隔寸法設定</p>	<p>【取付管縦断面図の設定】-【取付管地下埋設物旗上設定】ダイアログに、取付管と地下埋設物との離隔寸法を取付管縦断面図内に作図するための設定を行なう【離隔寸法設定】ページを追加しました。</p> 
<p>取付管縦断面図内に、取付管と地盤変化点との離隔を寸法として作図することが可能になりました。</p>	<p>取付管の地盤変化点離隔寸法設定</p>	<p>【取付管縦断面図の設定】-【取付管地盤変化点旗上設定】ダイアログに、取付管と地盤変化点との離隔寸法を取付管縦断面図内に作図するための設定を行なう【離隔寸法設定】ページを追加しました。</p> 

追加機能概要	分類	内容
クロス管旗上機能の拡張		
<p>縦断面作図の際のクロス管旗上において、ツリーの上部、および下部のどちらのプロジェクトの縦断面においてもクロス管旗上することが可能になりました。</p>	<p>クロス管旗上設定</p>	<p>【縦断面の設定】-【クロス管旗上設定】ダイアログの【旗上設定】ページに、路線にクロス管として設定されている路線(クロス管)の縦断面を作図する場合、その本管をクロス管としてクロス管旗上を作図するための『クロス管の縦断面に本管のクロス管旗上を作図する』の設定を追加しました。</p> 
縦断面帯項目の追加 ※取付管縦断面の作図には要【屋外排水設備システム(オプション)】		
<p>本管縦断面の帯項目として、[人孔施設番号]、[スパン施設番号]、および[掘削幅]が追加され、作図可能になりました。</p>	<p>帯作図項目の設定</p>	<p>【縦断面の設定】-【帯枠タイプ設定】ダイアログの【帯項目】ページ内の作図できる帯項目として次の項目を追加し、【縦断面の設定】-【帯枠形状設定】ダイアログ内で、追加された帯項目の形状についての設定を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『帯分類一覧』で[測点関連]を選択している場合の『帯項目一覧』に[人孔施設番号]を追加しました。 ・『帯分類一覧』で[路線記号関連]を選択している場合の『帯項目一覧』に[スパン施設番号]を追加しました。 ・『帯分類一覧』で[数量計算(管敷設工)関連]を選択している場合の『帯項目一覧』に[掘削幅]を追加しました。 
<p>取付管縦断面の帯項目として、[取付樹施設番号]、および[取付管施設番号]が追加され、作図可能になりました。</p>	<p>取付管帯作図項目の設定</p>	<p>【取付管縦断面の設定】-【取付管縦断面帯枠タイプ設定】ダイアログの【帯項目】ページ内の作図できる帯項目として次の項目を追加し、【取付管縦断面の設定】-【取付管縦断面帯枠形状設定】ダイアログ内で、追加された帯項目の形状についての設定を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『帯分類一覧』で[測点関連]を選択している場合の『帯項目一覧』に[取付樹施設番号]を追加しました。 ・『帯分類一覧』で[取付管記号関連]を選択している場合の『帯項目一覧』に[取付管施設番号]を追加しました。 
縦断面表記寸法項目の追加		
<p>本管縦断面の表記寸法として、[掘削幅]が追加され、作図可能になりました。</p>	<p>表記寸法作図項目の設定</p>	<p>【縦断面の設定】-【表記寸法設定】ダイアログの『表記寸法一覧』に、[掘削幅]を追加しました。</p> 
取付管縦断面旗上文字の追加 ※要【屋外排水設備システム(オプション)】		
<p>取付管縦断面の旗上文字として、[取付番号]、および[樹名称]が追加され、作図可能になりました。</p>	<p>旗上作図項目の設定</p>	<p>【取付管縦断面の設定】-【旗上設定】ダイアログの【旗上文字設定】ページ内の『旗上文字一覧』に、[取付番号]、および[樹名称]を追加しました。</p> 
縦断面基準線作図機能の拡張		
<p>本管縦断面内の基準線の開始位置を基準標高文字の開始位置に合わせて調整する機能が追加され、作図可能になりました。</p>	<p>基準線設定</p>	<p>【縦断面の設定】-【基準線設定】ダイアログの【基準線設定】ページに、基準線を作図する開始位置の調整ができる設定を追加し、本管縦断面内の基準線の作図において、基準標高文字の左端からオフセットを加えた位置を開始位置(図面左側位置)に設定可能になりました。</p> 
<p>取付管縦断面内の基準線の開始位置を基準標高文字の開始位置に合わせて調整する機能が追加され、作図可能になりました。</p>	<p>取付管基準線設定</p>	<p>【取付管縦断面の設定】-【取付管縦断面基準線設定】ダイアログの【基準線設定】ページに、基準線を作図する開始位置の調整ができる設定を追加し、取付管縦断面内の基準線の作図において、基準標高文字の左端からオフセットを加えた位置を開始位置(図面左側位置)に設定可能になりました。</p> 

追加機能概要	分類	内容
縦断図内流入・流出管作図タイプの追加		
<p>本管縦断図内の流入管、および起点兼用または分水人孔での流入管・流出管の作図タイプが追加され、作図可能になりました。</p>	<p>流入・流出管作図タイプの設定</p>	<p>【縦断図の設定】-【流入・流出路線記号設定】ダイアログの【流入・流出管設定】ページ内の『流入管作図タイプ』、『起点兼用または分水人孔での流入管作図タイプ』、および『起点兼用または分水人孔での流出管作図タイプ』に、【側面をY軸縮尺により作図タイプ】の追加と、その時の『流入管の側面作図長』、および『流出管の側面作図長』の設定を追加しました。</p> 
<p>取付管縦断図内の流入管の作図タイプが追加され、作図可能になりました。</p>	<p>取付管流入管作図タイプの設定</p>	<p>【取付管縦断図の設定】-【取付管流入・流出路線記号設定】ダイアログの【流入・流出管設定】ページ内の『流入管作図タイプ』に、【側面をY軸縮尺により作図タイプ】の追加と、その時の『流入管の側面作図長』の設定を追加しました。</p> 
縦断図割付機能の拡張		
<p>縦断図の割付において、プロジェクトをまたがった縦断図の割付を行うことが可能になりました。</p>	<p>縦断図割付機能</p>	<p>【作成】-【縦断図作成】、もしくは【縦断図】タブ内の右クリックポップアップメニューによる【追加】の指定により表示される【縦断図作成】コマンド内に、プロジェクトをまたがった縦断図の割付も行なえる『プロジェクト』を選択するリストボックスを追加しました。</p> 
<p>一度割付を行なった縦断図内の割付の順番を変更することが可能になりました。</p>	<p>縦断図割付変更機能</p>	<p>【作成】-【縦断図作成】、もしくは【縦断図】タブ内の右クリックポップアップメニューによる【追加】の指定により表示される【縦断図作成】コマンド内に、一度割付を行なった縦断図内の割付の順番を変更するための【↑上へ移動】、および【↓下へ移動】ボタンを追加しました。</p> 
副管設置における判断機能の追加		
<p>副管を設置する条件として、プロジェクトタイプ(汚水・雨水・合流・集落排水)で判断することが可能になりました。</p>	<p>副管設置の設定</p>	<p>【縦断設計の設定】-【人孔関係の設定】ダイアログ内の【副管設置設定】ボタンを押すと表示される【副管設置の設定】ダイアログ内に、『プロジェクトタイプ毎の設定』を設け、プロジェクトタイプ(汚水・雨水・合流・集落排水)により流量計算時に副管を自動設置できる設定を追加しました。</p> 
取付管ツリー表示切替機能の追加		
<p>取付管のツリー内の番号が、『柵番号』でも表示できるようになりました。</p>	<p>取付管ツリー表示切替機能</p>	<p>【取付管図】タブ内の右クリックポップアップメニュー内に、ツリー内の番号表示を切り替えるための『取付番号表示』と『柵番号表示』のメニューを追加しました。</p> 
標準テンプレートの追加		
<p>ワークスペースの『標準テンプレート』が追加され、選択できるようになりました。</p>	<p>テンプレートの追加</p>	<p>【ファイル】-【新規ワークスペース】ダイアログにおいて、テンプレートをリストから選択する場合に採用できる『標準テンプレート』が導入されました。</p> 